

日本生活科・総合的学習教育学会設立20周年事業 埼玉支部会報告

1 日程 平成23年8月6日(土) 13:00~16:40

12:30	13:00	13:15	15:00	15:20	16:40	17:10	19:00
受付	開会行事	シンポジウム	移動	ワークショップ・指導の悩み相談室	移動	懇親会	

2 会場 埼玉大学教育学部附属小学校

3 参加者 90名

4 内容

○生活・総合の未来を語るシンポジウム

- | | | |
|------------|---------|-----------------------------|
| (コーディネーター) | 田村 学先生 | 文部科学省教科調査官 |
| (パネリスト) | 木村 吉彦先生 | 上越教育大学 |
| | 原田 信之先生 | 岐阜大学 |
| | 山田 直樹先生 | 川越市立霞ヶ関小学校(生活科初代長期研修生) |
| | 竹森 努先生 | 松伏町立松伏小学校(総合的な学習の時間初代長期研修生) |



※生活・総合の誕生時のことを振り返りました。教育界の出来事や研究者の立場から、現場の教員の立場から生活・総合の原点を聞くことができました。また、生活・総合で子どもたちにどのような力がついたかを語り、今までの成果と10・20年度の教育について考える機会となりました。生活・総合で育った教員が活躍する時代となり、さらに充実・発展すると期待できました。

○ワークショップ及び指導の悩み相談室

- ア 教材開発室 ◎佐藤 利幸先生 田中 京子先生
 安東由美子先生 市川 篤史先生
 田上 智明先生 若村 健一先生

※身近なところに材ありを提案しました。生活と総合の実践提案から、参加者の先生と一緒にこれからの生活・総合の単元開発について模造紙に書きながら協議しました。



- イ 評価研究室 ◎井原 政幸先生 海老澤由美先生
 栗原 敏枝先生 境野 仁先生
 山口 徹志先生 坂本 信之先生

※ワークシートへの評価(朱書き)を提案しました。児童のノートからの評価、他の情報と合わせた評価、フィードバック(カードへのコメント)を参加者の先生と協議しました。



- ウ 探究研究室 ◎小川 聖子先生 石橋 桂子先生
 中田 泰志先生 藤田 恵子先生
 渡邊 重樹先生 齋藤 博伸先生

※探究を深めるための掲示・板書等の提案をしました。参加者の先生と掲示物の学習効果や板書による整理・分析の可視化、座席表の活用について協議しました。



(平成23年8月8日作成 文責: 齋藤 博伸)

○生活・総合の未来を語るシンポジウムの感想

田村先生と4人の先生方の話を聞き、改めて生活・総合の重要性と存在意義について確信することができました。なぜならば、生活・総合は教育そのものであるからです。まると子どもを包み込み、子どもの人格を形成していく核になるからです。故に、生活・総合に正対しないということは、教育を放棄するということにもつながりかねません。日本の教育を空洞化させないためにも、皆で力を合わせ、生活・総合を盛り上げたいと強く感じました。(市川 篤史)

「学会発祥の地から生活・総合の未来を考える会」まさに、タイトル通り！生活科20年・総合10年を語り合う素晴らしい研究会でした。特に、シンポジウムでは、コーディネーターの田村先生の軽快な進行に4人のパネリストの先生方のそれぞれの立場から見てきたお話が、生活・総合にかける「思い」や「熱意」を実感しました。笑いあり、感動あり、そして、明日に向かっていく情熱とたくさんの実践事例のおみやげをいただきました。これからは、実践でお返ししていければと思いました。ありがとうございました。(山口由美子)

○ワークショップ及び指導の悩み相談室の感想

7月28日(木)の打ち合わせ段階では、評価研究室は生活科と総合に分かれて実践発表、質疑応答、井原先生の話という流れでしたが、総合希望の方が少数のため、急遽、生活科と総合の合同での提案となりました。ワークショップは、参加されている方も一緒になって活動しながら行うもの、という考えが有りましたので、私としては少人数の中で総合の評価について学べたことは非常に有意義でした。強いてあげるとすると・・・「評価研究室にこんなことを求めたい。」「こんな所で困ってるからぜひ評価のこの部分を聞いてみたい。」など、あらかじめ、参会者の方の声が聞ければ、皆様の期待に応えられたのかなあ・・・とも思います。(坂本 信之)